

NLE <i>Yokohama</i>		SETTING INTO OPERATION FOR "Super Sakura5"	Technical Catalog	
Sept. 15 2005			TC 000 559 J	
R&D TAD	Ver. 1.1	Main Moodule 「6V多局用設定・取付マニュアル」	Page	1 / 17



「Super Sakura 5 Main Module」 6 V 多局

設定・取付マニュアル

PHS/モデム

認定番号：A05-0028004

目 次

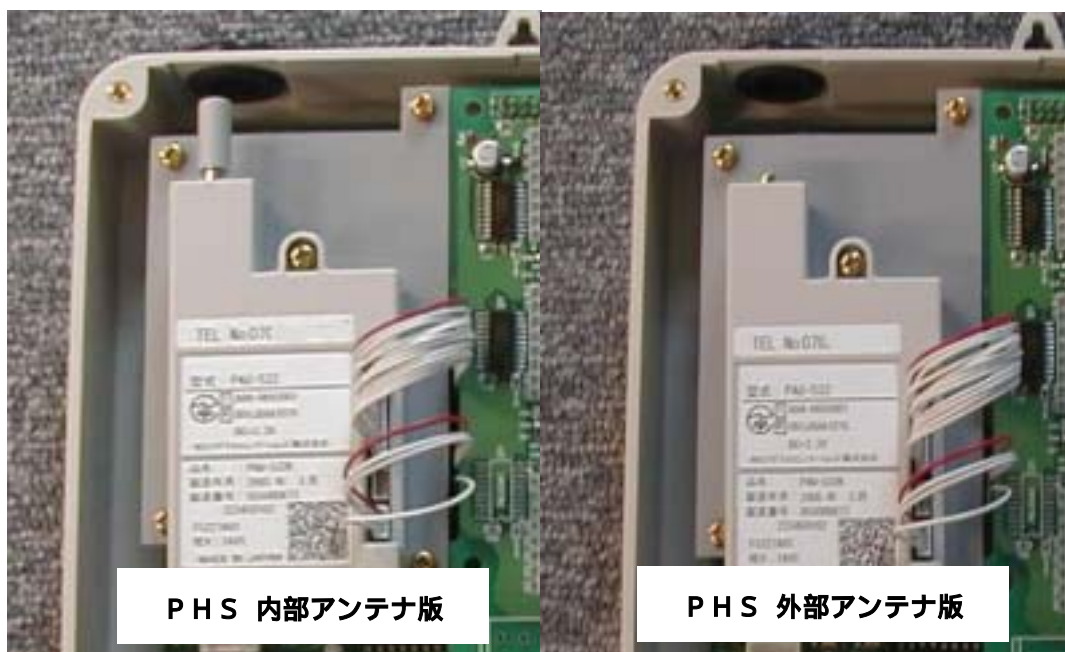
1.開封チェック	3ページ
2.取り付け接続作業	5ページ
(1) 情報の設定作業	5ページ
(2) 設置前確認作業	5ページ
(3) ディップスイッチ (SW3) の確認	5ページ
(4) ジャンパビンの確認	6ページ
(5) メンテナンススイッチの接続	6ページ
(6) エレベータインターホンとの接続	7ページ
(7) インターホン電圧の確認	9ページ
(8) エレベータ監視ポイントの接続	9ページ
(9) 電話回線の接続 (モデム内蔵の場合のみ)	10ページ
(10) 外部アンテナ線の接続 (PHS内蔵の場合のみ)	10ページ
(11) 電源の接続	11ページ
(12) 外部 (センター側) からの着信	11ページ
3. 電話回線の種類の選択と電話番号の設定	11ページ
(1) リモート設定	11ページ
4. 表示LED及びスイッチの説明	13ページ
(1) LEDの動作フロー	13ページ
5.テスト発報	15ページ
(1) 非常コール	15ページ
(2) ボリューム調整	16ページ
(3) メンテナンス開始発報	16ページ
(4) メンテナンス終了発報	16ページ
(5) アラーム発報	16ページ
6..運転開始	17ページ
(1) バッテリーの接続	17ページ
(2) 上蓋を閉じる	17ページ
(3) 運転開始	17ページ
7. その他 (必ずお読み下さい)	17ページ
(1) PB音出力	17ページ
(2) バッテリーの交換	17ページ

1. 開封チェック

「Super Sakura 5」の梱包には下記のものが含まれていますので、開封時に必ず欠品等が無いかチェックして下さい。

- | | | | |
|-----|-----------------------|----|------------|
| (1) | 本取扱説明書(TC 000559 J) | 1部 | (初回のみ同封) |
| (2) | 「Super Sakura 5」本体 | 1式 | |
| | 付属品 | | |
| | ・ ACアダプター | 1個 | |
| | ・ バッテリー(本体に内蔵) | 1個 | |
| | ・ メンテナンススイッチ | 1個 | |
| | ・ 外部アンテナ(オプション) | 1個 | |





Super Sakura5 (型式 : DS5-xx-M6)

2. 取り付け/接続作業

(1) 情報の設定作業

発報先 番号やSakuraiD等必要なデータを設定ツールで設定しておく必要があります。

(設定ソフトマニュアル T000701J 及び T000744J をご確認ください。)

(2) 設置前確認作業

本装置は、PHS内蔵の場合は外部のPHS公衆基地局と無線通信を行う装置が組み込まれております。モデム内蔵の場合は外部のNTT回線と通信を行う為のモデムが組み込まれております。従って、設置前に下記の内容をご確認された後、設置作業を行ってください。

a) PHS内蔵の場合は、

- ・ 加入契約されたPHS事業者のサービスエリア内であること。
- ・ PHS試験用端末で30dB以上の電波が受信でき、かつ通話を行って問題がないこと。
- ・ 金属の壁面への取付は避けてください。電波が遮断される可能性があります。

b) モデム内蔵の場合は、

- ・ 開通済みのNTT回線が本装置までモジュージャック付きで配線されていること。

c) 直射日光が長時間あたる場所は避けること。

d) 本体へ常に水がかかる場所は避けてください。

e) 無通電状態で設置作業を行ってください。

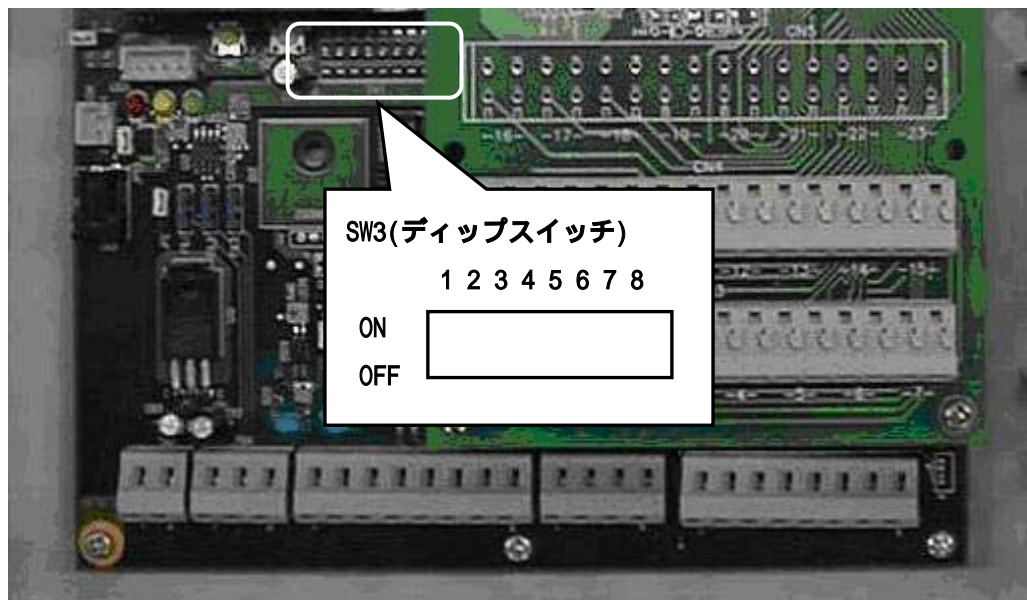
f) 設置前にならず各種設定を行ってください。

(3) ディップスイッチ (SW3) の確認

ディップスイッチ (SW3) は、工場出荷時に下記のようにセットされております。

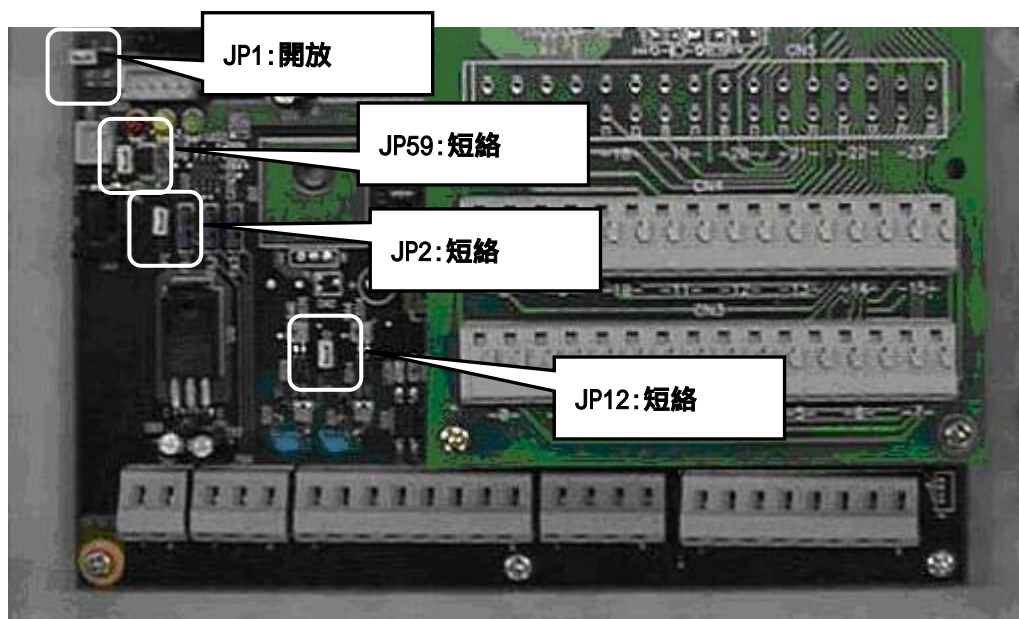
PHS(NEC)使用時 : 1、4番ピンON, その他はOFF

モデム使用時 : 1、4、7番ピンON, その他はOFF



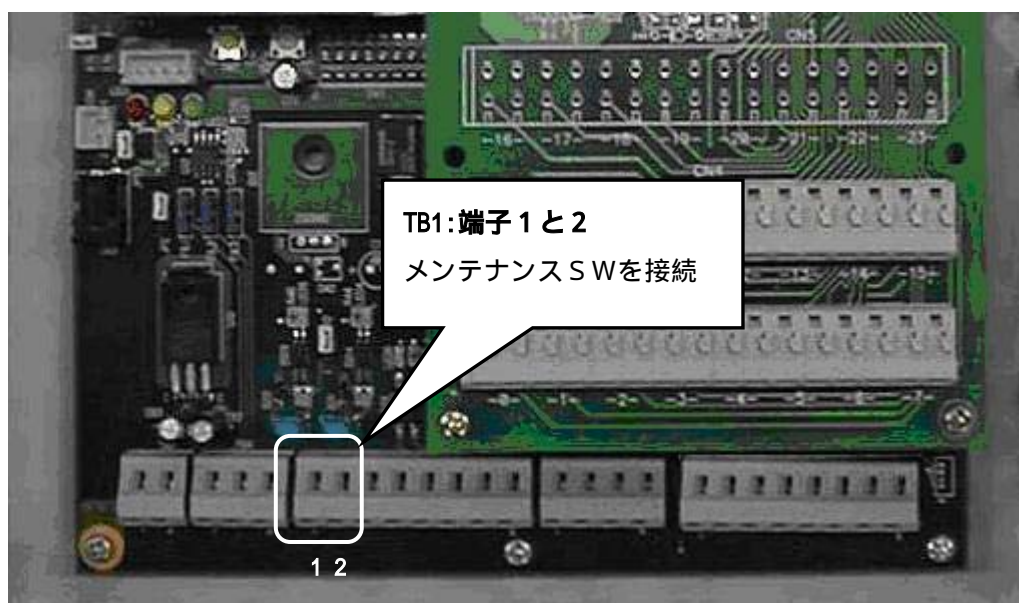
(4) ジャンパピンの確認

ジャンパピン (JP1,JP2,JP12,JP59) は、工場出荷時に下記のようにセットされています。



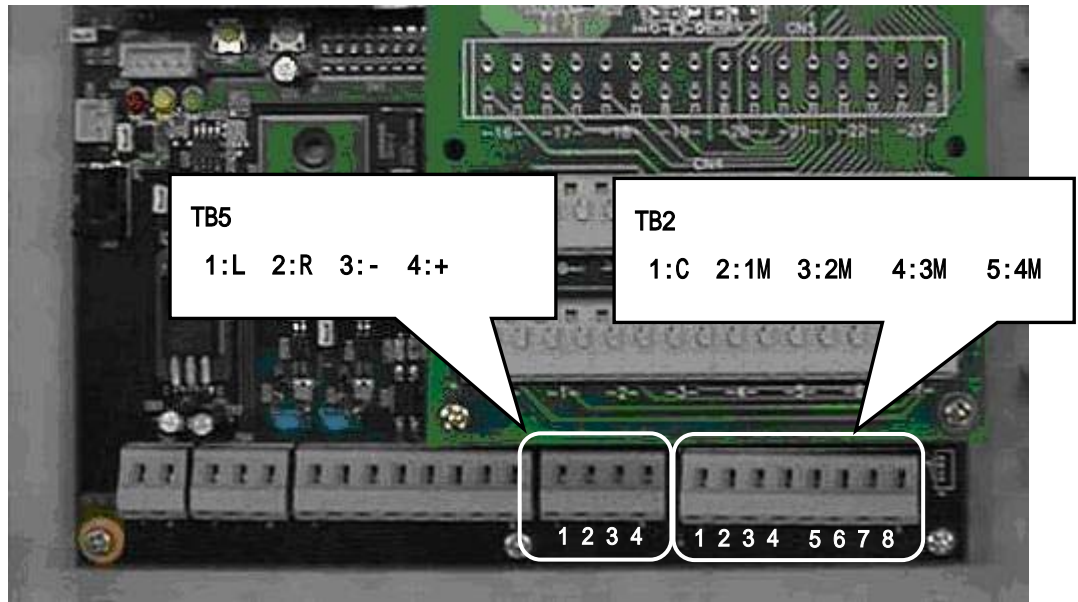
(5) メンテナンススイッチの接続

TB1コネクタのピン1とピン2にメンテナンススイッチを接続します。



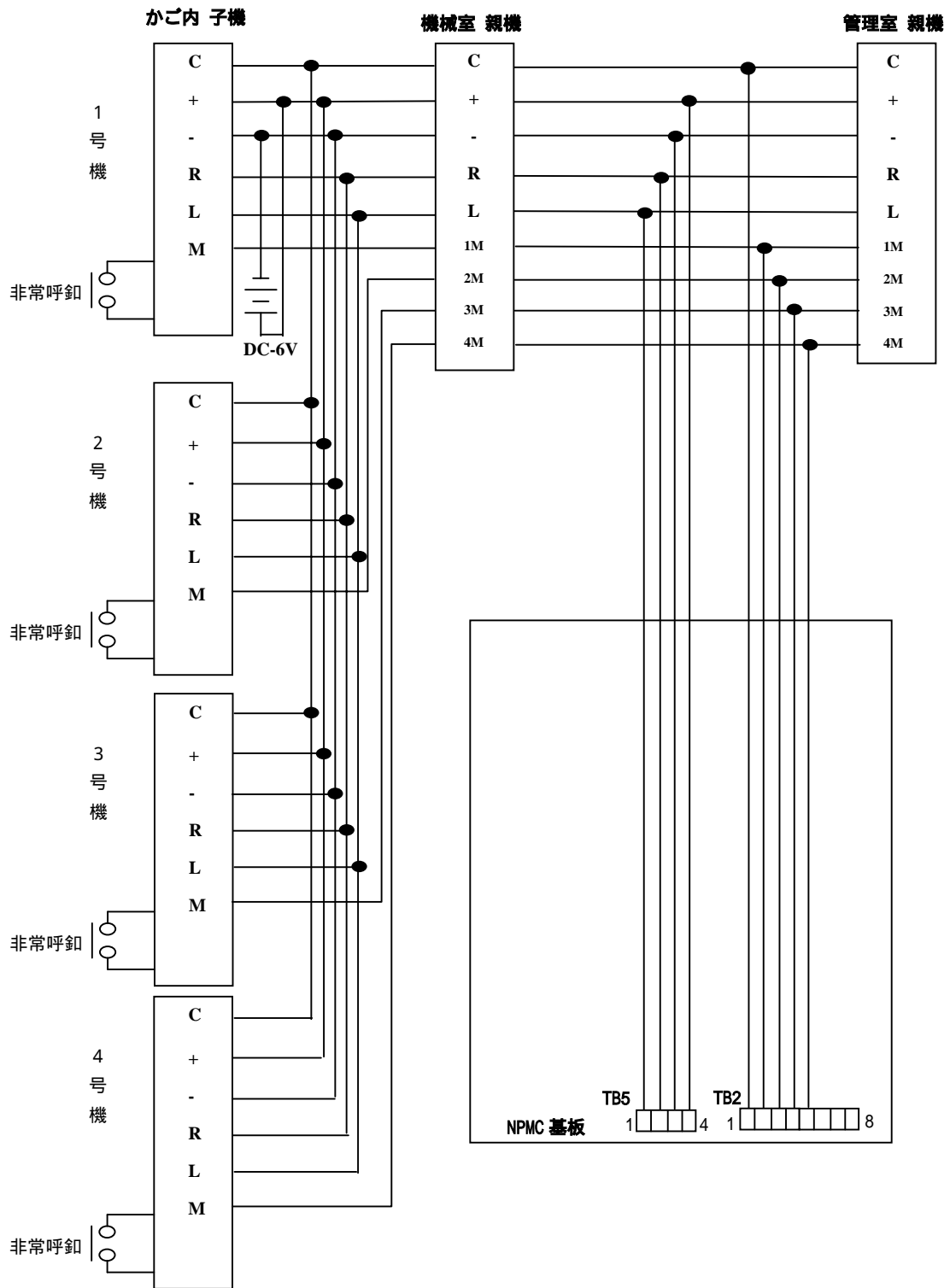
(6) エレベーターインターホンとの接続

既存のエレベーターインターホン親機 (E-0 6 RC) の裏面端子と SuperSakura5 メインモジュールのインターホン接続端子を線で結線する。(電線の仕様 : 単線 0.32mm ~ 0.65mm、撚線 0.08mm ~ 0.32mm 素線径 0.125mm 以上 剥き線長 10mm)

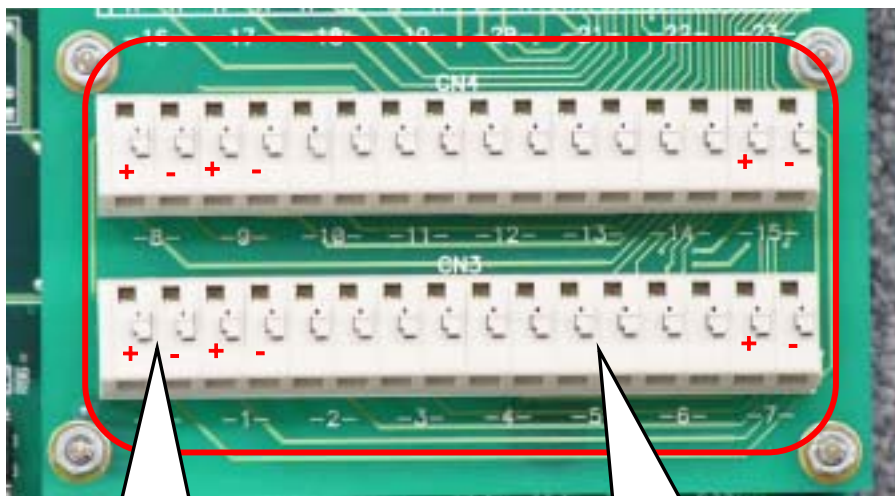


TB 5 コネクターピン No.	インターホン信号名	TB 5 コネクターピン No.	インターホン信号名
1	L	3	- (マイナス)
2	R	4	+ (プラス)

TB 2 コネクターピン No.	インターホン信号名	TB 2 コネクターピン No.	インターホン信号名
1	C	4	3 M
2	1 M	5	4 M
3	2 M	6 - 8	不要



- (7) インターホン電圧の確認
 インターホン接続ケーブルの (-) と (+) に DC6V が供給されている事をテスターで確認して下さい。
 (電圧が 5.4V ~ 6.6V の範囲にない場合は誤動作する事があります。)
- (8) 各ポートへエレベータ監視ポイントの接続
 NEXPI16基板の**CN3**及び**CN4**に監視用信号を接続します。
 CN4の -8- は、 AC/DC50V ~ 200Vの入力に対応しています。
 それ以外は、 AC6V ~ 120V 又は DC6V ~ 100V の入力に対応しています。
 DC入力の場合、プラスとマイナスを逆に接続すると反応しませんので、お気を付けてください。
 端子は左から (+) , (-) が各ポート毎に交互に配置しています。



CN3 -0- 及び CN4 -8-
 AC/DC 50V ~ 200V 対応

CN3 -1- から -7- 及び
 CN4 -9- から -15-
 AC 6V ~ 120V 対応
 DC 6V ~ 100V 対応

NEXPI16基板 CN3 コネクタ

- 0-の左 : ポート1のプラス
- 0-の右 : ポート1のマイナス
- 1-の左 : ポート2のプラス
- 1-の右 : ポート2のマイナス

- 6-の左 : ポート7のプラス
- 6-の右 : ポート7のマイナス
- 7-の左 : ポート8のプラス
- 7-の右 : ポート8のマイナス

NEXPI16基板 CN4 コネクタ

- 8-の左 : ポート9のプラス
- 8-の右 : ポート9のマイナス
- 9-の左 : ポート10のプラス
- 9-の右 : ポート10のマイナス

- 14-の左 : ポート15のプラス
- 14-の右 : ポート15のマイナス
- 15-の左 : ポート16のプラス
- 15-の右 : ポート16のマイナス

- (9) 電話回線の接続（モデム内蔵の場合のみ）
モジュージャック付き電話線をMDM12B基板のCN3へ接続します。



- (10) 外部アンテナの接続（PHS内蔵の場合）

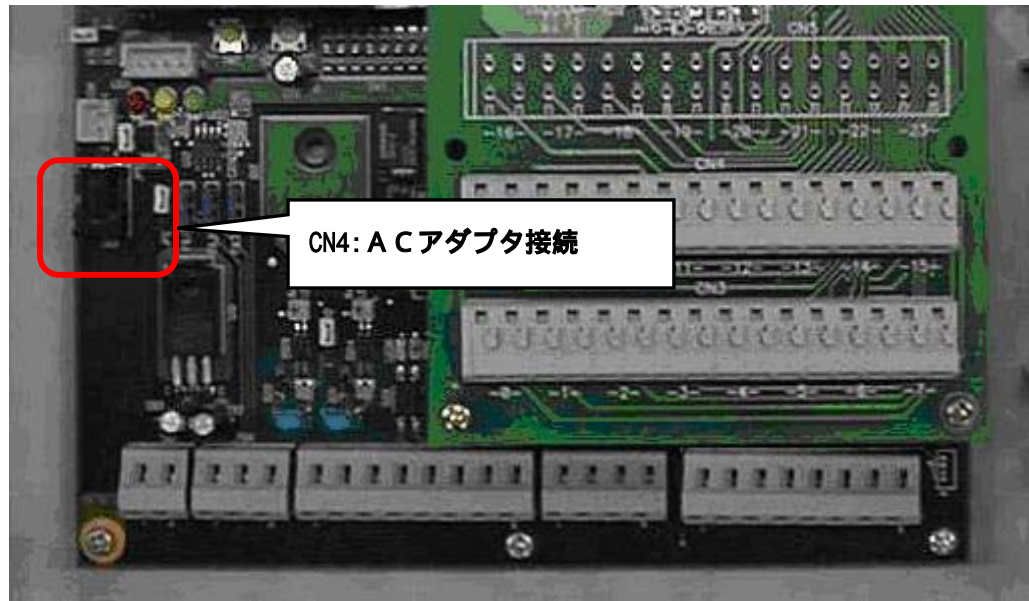
a) NEC PAU タイプ

SuperSakura5 メインモジュール PHS 上部に添付されている外部アンテナを接続して下さい。



- (11) 電源の接続

(5)で接続してメンテナンススイッチがOFF（断）になっていることを確認します。



CN3へACアダプタを接続します。

ACアダプタをAC100Vコンセントへ接続します。

PHS 内蔵の場合、回線開通後最初の電源投入時には電源の入り切りを2～3回行なってください。

(4.(1)LED 動作フローの電源 ON から監視中まで)

(12) 外部（センター側）からの着信確認

外部電話（携帯電話など）から本装置にダイヤルすると、自動応答し通話状態となります。外部電話を切ると本装置は自動的に回線断します。

3．電話回線の種類の選択と電話番号の設定

(1) リモート設定

外部電話（携帯電話など）から本装置にダイヤルすると、自動応答し通話状態となります。その通話状態から下記の設定を行って下さい。

リモートで各種設定が行えます。##0 に続いてパスワードの入力を行い、最後に*#を入力してください。パスワードが正しく受けられると、低-高-高(ピーポ・ポ)の3つの連続音が聞こえます。高-高-低(ポ・ポ・ビー)の連続音になった場合は、不正なパスワードを示します。その場合には再度、##0から入力し直して下さい。以下に各種設定のキー操作を示します。

##0 nnnn (パスワード4桁) (出荷時は、9999 にセットしてあります)

##1 nnnnnnnnnnn*# (非常コール1) (1番目の電話番号 n = 市外局番からの電話番号 最大16桁)

##2 nnnnnnnnnnn*# (非常コール2) (2番目の電話番号 n = 市外局番からの電話番号 最大16桁)

##3 nnnnnnnnnnn*# (モデムコール1) (1番目の電話番号 n = 市外局番からの電話番号 最大16桁)

##4 nnnnnnnnnnn*# (モデムコール2) (2番目の電話番号 n = 市外局番からの電話番号 最大16桁)

##5nnnnnnnn*#	(ID-PB 音出力) (n = 電話回線接続後のPB音によるID番号) (最大16桁)
##6nnn*#	(非常発報待ち時間) (出荷時012秒) (設定範囲: 1~255秒)
##7nml*#	(出荷時: 010) (回線の種類の選択 n = 0: トン、1: 10pps, 2: 20pps) (モデム内蔵時のみ有効) (回線の機能の選択 m = 0: インターホンの親機が応答した場合はダイヤルしない 1: インターホンの親機が応答してもダイヤルする 2: 未使用) (アンサーモードの選択 l = 0: 着信可能、1: 未使用、2: 未使用、3: 着信拒否)
##8	(かご内アナウンス録音) センター側の電話機のハンドセットより音声を録音します。##8を入力すると、直ちに録音 がスタートします。約7秒間の録音の後自動的に再生され内容を確認する事が出来ます。
##9	(現場名アナウンス録音) センター側の電話機のハンドセットより音声を録音します。##9を入力すると、直ちに録音 がスタートします。約12秒間の録音の後自動的に再生され内容を確認する事が出来ます。



注意! 上記設定を行う際は、全て ##n から始まり、末尾に必ず *# を入力します。ただしパスワードと音声録音は末尾に *# は必要ありません。押しボタンの操作は手早く行い、ボタン操作から次に押しボタン操作までは3秒以内として下さい。もし、3秒以上の間隔が空いた場合は高-高-低(ポ・ポ・ピー)の連続音(NG音)となりますので再度 ##n の操作から行って下さい。

各設定が正しく登録された場合には設定毎に、低-高-高(ピーポ・ポ)の3つの連続音(OK音)となります。NGの場合は高-高-低(ポ・ポ・ピー)の連続音(NG音)となります。

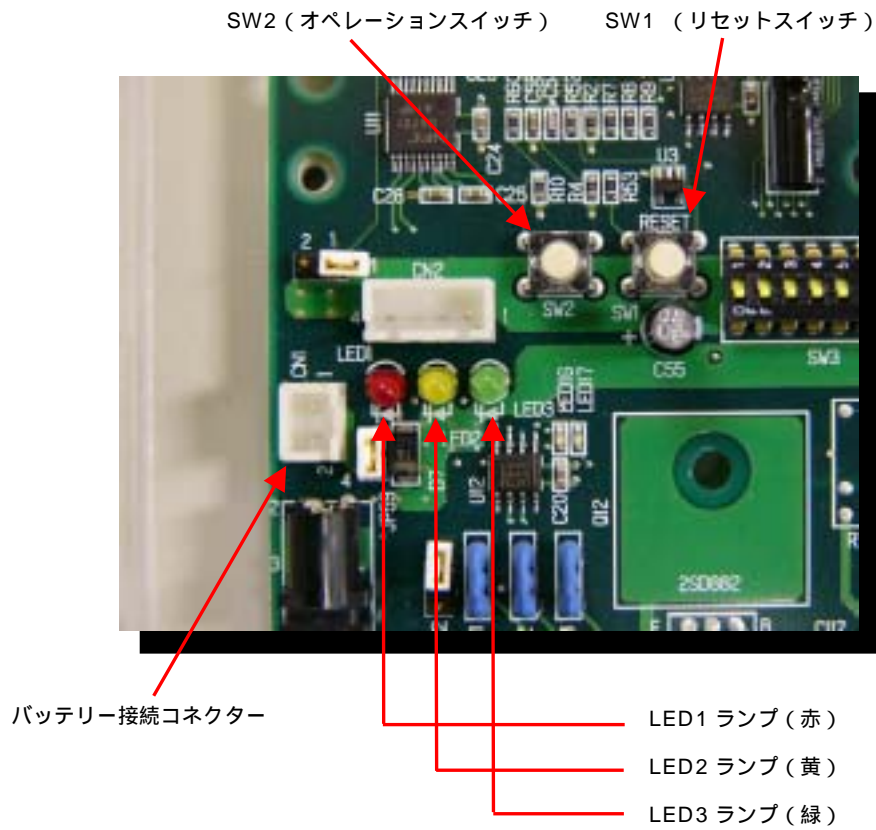
同じ番号を重複して登録しても構いません。##1~4までの全ての発報連絡先に電話番号を入力して下さい。

##8の工場出荷時の設定音声として「ただいまセンターへ接続中です。暫くお待ちください。」と録音されています。

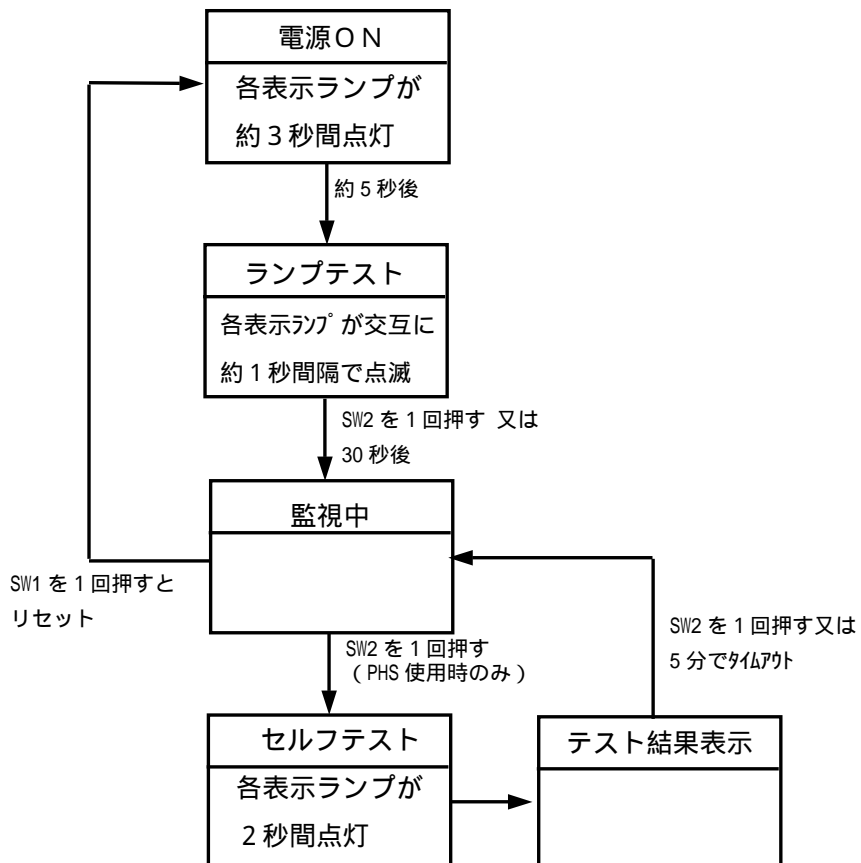
##9の工場出荷時の設定音声として「無音・」が録音してありますので必ず設置前にご変更下さい。

PHS 内蔵タイプに携帯電話から設定する場合、正常に設定されない場合があります。その場合は、NTT 回線に接続された電話機から設定して下さい。

4. 表示LED及びスイッチの説明



(1) LED動作フロー



a) 電源ON

b) ランプテスト

LED1, LED2, LED3が約5秒間点灯し、その約30秒後に自動的に監視中に切り替わる

c) 監視中

LED1 (赤色)の説明 プログラム動作中及び電源状態表示ランプ

点灯 : 電源ON及び動作中

消灯 : 電源OFF

LED2 (黄色)の説明 発信状態表示ランプ

点灯 : 通話装置発信中

消灯 : 通信なし

点滅 : メンテナンスデータもしくはアラーム発報通信中(約1秒間隔の点滅)

LED3 (緑色)の説明 着信状態表示ランプ

点灯 : 外部より着信中

消灯 : 通信なし

d) メンテナンス中

LED1 (赤色)の説明 c) 監視中と同じ

LED2 (黄色)の説明 メンテナンス中表示ランプ

点滅 : 約0.5秒間隔の点滅

LED3 (緑色)の説明 c) 監視中と同じ

e) セルフテスト(PHS使用時のみ)

LED1, LED2, LED3のランプが約2秒間で点滅する。自動的にテスト結果に切り替わる

f) セルフテストのテスト結果(PHS使用時のみ)

LED1 (赤色)の説明 PHSの入力レベル表示ランプ

点灯 : 電波レベルが良い

消灯 : 電波が無い(接続の問題)

点滅 : 電波レベルが悪い

LED2 使用しません。

LED3 (緑色)の説明 テスト結果表示ランプ

点灯 : テスト結果表示中

5 . テスト発報



注意！

電話回線PAUを使用する場合、予めPAUの開通の事務手続を行っておく必要があります。
また、開通の事務手続を行っていても、PAUの電源を一度も投入していなければ、外部の電話から電話をしても「おかけになった電話番号番号は現在使われておりません...」となります。従って、テスト発報を行う前には必ず端末装置の電源を投入してください。

開通しているかしていないかを確認する簡単な方法は、そのPAUに外部の電話器（携帯電話など）から電話をかけた時の反応で判別します。

開通していて電波が通じている場合

普通の電話と同じにリングになります。

開通していて電波が通じていない場合

「おかけになった電話は電波が届かない場所にあるか電源が入っていない為、かかりません」となります。

開通していない。または一度も端末装置の電源を入れていない場合

「おかけになった電話番号は現在使われておりません...」となります。

センターへ対し非通知で発報する場合は、電源の入り切り（4.(1)LED 動作フローの電源 ON から監視中まで）を2～3回行なってください。



注意！

モデムを使用する場合、予め NTT 回線の契約を行い実際の回線を装置取り付け位置まで配線しておく必要があります。また、配線の先端はモジュージャックになっている必要があります。

(1) 非常コール

かご内インターホン子機の非常釦を3秒間押します。

非常釦が押された事を感じし発報動作します。（非常音発鳴...）

かご内子機よりアナウンス（「かご内アナウンス録音」内容）が再生され、設定された電話番号に電話をかけます。

設定された「非常コール1」の電話番号に電話をかけ、「応答なし」もしくは「話し中」等相手先につながらない場合は次の「非常コール2」の電話番号へ、という様に以降、接続されるまで3周期（6回）繰り返します。

非常コール1 非常コール2 非常コール1 非常コール2 非常コール1 非常コール2

電話がつながりましたら「ID-PB」（3.(1)の#5）音出力後、相互通話が行えます。

尚、相互通話を確認出来ましたらセンター側の電話機より

* を押す事により現場名アナウンスが再生されます。のでご確認下さい。

相互通話は4分間可能です。

相互通話で3分50秒を経過した時点で警告音が「ピピピピ」と4回鳴りその後、回線を自動切断します。



注意！

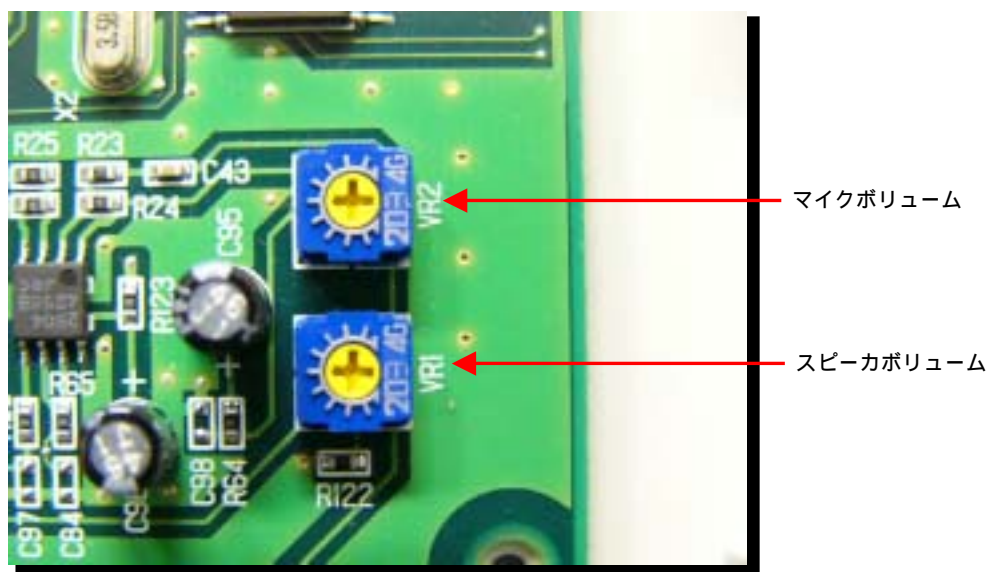
かご内非常釦の押し下げが3秒未満の場合は、誤操作とみなし電話はかけません。

（いたずら並びに誤操作防止機能）

かご内子機よりアナウンス（「かご内アナウンス録音」内容）が再生されている間に電話がつながる場合があります。その場合は、アナウンスを中断し通話を開始する事が出来ます。

(2) ボリューム調整

NPMC基板上のVR1及びVR2でスピーカ及びマイクのボリューム調整が行えます。



右に回すとボリュームが大きくなります。

現場にて実際に聞きながら調整してください。

(3) メンテナンス開始発報

メンテナンススイッチを ON にします。

(4) メンテナンス終了発報

メンテナンススイッチを OFF にします。

(5) アラーム発報

任意のアラームを発生させます。

6. 運転開始

(1) バッテリーの接続



CN1にバッテリーを接続します。

(2) 上蓋を閉じる

(3) 運転開始

上記すべての作業が確認出来ましたら運転開始です。

7. その他 (必ずお読み下さい)

(1) ID-PB音出力

固有のID番号を送出します。事前に「# # 5」に登録された番号が回線接続直後に送出されます。これはパソコン等で本装置からのインターフォン発報を受信する場合に使用します。

(2) バッテリー

バッテリーは消耗品です2年を目安に交換して下さい。

- 以上 -